

令和8年5月1日

関係機関所属長 殿

熊本大学大学院先端科学研究部長
井原 敏博（公印省略）

教員の公募について

標記のことについて、本学大学院先端科学研究部基礎科学部門数学分野教授候補者の公募を下記のとおり行うことになりました。つきましては、貴機関関係各位への周知について、よろしくお取り計らい下さるようお願い申し上げます。

記

1. 募集職名・人員 教授 1名
2. 所 属 熊本大学大学院先端科学研究部基礎科学部門数学分野
3. 専門分野 確率論および確率論を専門とする数学分野
4. 職務内容 理学部専門教育、教養教育および大学院自然科学教育部における数学関連の科目、大学院自然科学教育部における研究指導、とくに確率論および確率論に関する科目および研究指導を担当していただきます。また、理学部における数理・データサイエンス・AI教育プログラム(応用基礎レベル)の科目の担当など数理・データサイエンス教育の推進に中心的な役割を果たしていただきます。研究と教育に加えて、大学の管理運営にも取り組んでいただきます。
5. 着任時期 令和8年12月1日以降のなるべく早い時期
6. 応募資格
 - (1) 博士あるいはPh.D.の学位を有する方
 - (2) 優れた研究業績を有する方
 - (3) 学部及び大学院における教育・研究並びに大学運営に対して熱意を有する方
 - (4) 学内外における諸業務の遂行が可能な日本語能力を有する方(例えば、JLPT N3 レベル以上)
7. 提出書類
 - (1) 履歴書(男女を問わず、出産、育児、介護に専念(あるいは従事)した期間について考慮されることを希望する場合は、付記してください。)

- (2) 研究業績リスト
- (3) 主要論文の別刷（コピー可）
- (4) これまでの研究業績と今後の研究計画
- (5) これまでの教育経験および教育に対する抱負（1, 200字程度）
- (6) 外部資金獲得状況などその他の業績
- (7) 応募者について照会できる方2～3名の氏名と連絡先
- (8) 申告書（様式有）
申告書は以下の本学ホームページに掲載のテンプレートをご使用ください。
<https://www.kumamoto-u.ac.jp/daigakujouhou/saiyou>

8. 応募期限 令和8年6月29日（月）必着

9. 提出方法

封筒の表に「教員応募書類在中」と朱書きし、下記宛てにゆうパック、レターパックなど送付到着が確認できる方法でお送り下さい。また、提出書類をpdf形式で保存したファイルを含むメディア（CD/DVDやUSBメモリなど）も同時に提出して下さい。

10. 応募書類提出先および問い合わせ先

〒860-8555 熊本市中央区黒髪2-39-1
熊本大学大学院先端科学研究部（理学系）数学分野 三沢正史
TEL 096-342-3343, E-mail mmisawa@kumamoto-u.ac.jp

11. 選考方法 第一次選考 書類審査
第二次選考 面接審査

※面接に係る旅費等の経費は自己負担となります。海外在住で対面での面接が難しい場合はご相談ください。詳しくは、第一次選考後にお知らせします。

12. 労働条件等

- (1) 職務内容 : (雇入れ直後) 教授としての業務に従事する
(変更の範囲) 熊本大学の定める業務
- (2) 勤務形態 : 同意に基づく専門業務型裁量労働制
勤務時間は、職員の裁量に委ねるものとし、1日の勤務時間は7時間45分とみなす。
- (3) 任期の定め : なし
- (4) 試用期間 : 6か月
- (5) 勤務場所 : (雇入れ直後) 熊本大学黒髪地区
(変更の範囲) 熊本大学の定める範囲
- (6) 時間外労働 : 時間外、深夜、休日労働の有無 有
- (7) 賃金等 : 国立大学法人熊本大学2号年俸制適用職員給与規則に定めるところによる。
- (8) 社会保険 : 文部科学省共済組合、雇用保険及び労災保険に加入
- (9) 雇用者 : 国立大学法人熊本大学

1 3. その他

- (1) 応募書類に含まれる個人情報、本人事選考のみに使用し、他の目的には一切使用しません。応募書類は返却いたしません。
- (2) 熊本大学はダイバーシティを推進しています。詳細はホームページをご覧ください。
<https://diversity.kumamoto-u.ac.jp/activities>
- (3) 選考に当たっては、「男女雇用機会均等法」第 8 条（女性労働者に係る措置に関する特例）の規定に基づき、女性教員の在籍率を改善するための措置として、公正な評価に基づき職務に必要とされている能力が同等と認められる場合は、女性を優先的に採用します。
- (4) 熊本大学では、競争的研究費や民間資金による共同研究等の直接経費の一部を、研究代表者等の給与への上乗せ（年間上限＜教授の場合＞1,000 万円）、自由裁量経費の配分、若手研究者を雇用できる資金へ転換できる制度が利用できます。
https://www.kumamoto-u.ac.jp/kenkyuu_sangakurenkei/kenkyuu/kenkyu/jwalct
- (5) 数学教室のホームページ
<http://www.sci.kumamoto-u.ac.jp/math/index-j.html>